

3 ロジックモデル

番号	個別施策	番号	施策の効果	番号	目指す姿
【全圏域】					
A	県民に対し、糖尿病及び慢性腎臓病（CKD）に関する正しい知識の普及・啓発と同時に、生活習慣の改善や健康診断の受診を促進	①	糖尿病及び慢性腎臓病（CKD）を予防できている（生活習慣改善の普及啓発・環境整備）	1	糖尿病患者の増加が抑制されている 指標 糖尿病が強く疑われる者（HbA1c 6.5%以上）の割合
A	県民に対し、糖尿病及び慢性腎臓病（CKD）に関する正しい知識の普及・啓発と同時に、生活習慣の改善や健康診断の受診を促進	再掲	② 特定健康診査及び特定保健指導の実施率向上 指標 特定健康診査受診率 ● 指標 特定保健指導実施率（終了率）	2	糖尿病重症者が減少している 指標 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数 ● 指標 年間新規透析導入患者数 指標 糖尿病の年齢調整死亡率（人口10万対） ● 指標 特定健康診査での受診勧奨により実際に医療機関へ受診した糖尿病未治療患者の割合 ●
B	健康状態に応じた保健指導の実施 プログラムを活用し、医療機関受診が必要な対象者に対して早期受診の重要性を周知し、適切な医療機関への受診につなげる	③	重症化予防の促進	3	患者が糖尿病とともに生活するために必要な理解が深まっている
C	治療と仕事の両立支援治療に関する情報発信を行うとともに、産業医等と連携し職場環境づくりを促進				
D	医療機関は、診療ガイドラインに基づき糖尿病の発症初期から眼底検査や尿中アルブミン検査、クレアチニン検査等を実施し、糖尿病合併症の早期発見を行う体制整備の促進				
E	専門医が少ない地域においても、患者に対し継続した治療を提供するため、かかりつけ医から専門医療機関への紹介基準の普及や、糖尿病治療を行う医師と眼科や歯科医師との連携や、他疾患の治療のために入院した患者の主治医等との連携強化				
D	医療機関は、診療ガイドラインに基づき糖尿病の発症初期から眼底検査や尿中アルブミン検査、クレアチニン検査等を実施し、糖尿病合併症の早期発見を行う体制整備の促進	再掲	④ 糖尿病合併症及び慢性腎臓病（CKD）管理の徹底 指標 HbA1cもしくはGA検査の実施割合 ● 指標 眼底検査の実施割合 ● 指標 尿中アルブミン・蛋白定量検査の実施割合 ●		
E	専門医が少ない地域においても、患者に対し継続した治療を提供するため、かかりつけ医から専門医療機関への紹介基準の普及や、糖尿病治療を行う医師と眼科や歯科医師との連携や、他疾患の治療のために入院した患者の主治医等との連携強化	再掲			
F	教育入院等の集中的な治療等を実施する医療機関の充実及び多職種・多施設が連携した支援体制の充実 PHR等を活用し、自らの健康状態をモニタリングできる仕組み等、新たな方策の積極的な取組みを検討				
G	新興感染症流行時等の非常時においても、切れ目なく適切な医療を受けられる体制を整備				

※●は国の重点指標